

## 「二つの勇気」

勇気というのは、人間にとってとても大事な力です。

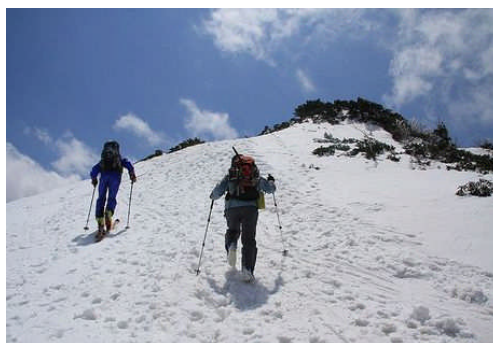
この勇気という力を持たないと、人は何かに挑戦するということできません。

勇気があってこそ、人間はたくさんの困難に立ち向かい、克服し、成長してきました。校長先生もとても大切にしている、人間の力です。

でも、勇気には二通りあります。

それは、「する勇気」と「しない勇気」です。

「する勇気」、それは、今話をした困難なことに出会っても、負けないで立ち向かう「する勇気」です。



もう一つの勇気は「しない勇気」です。

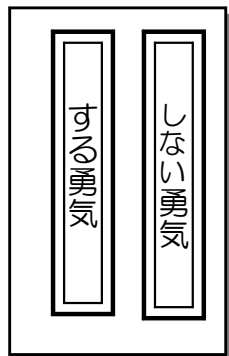
実はこの勇気がとても大切なんです。

こんな話があります。困難な（とても難しい）山に登る人（登山家）が厳しい山へ登っていました。大変な苦労を積み重ねてい、よいよあと少しで頂上という時に、天気が急に悪くなって嵐のようになってしまいました。頂上は目前ですし、今までの苦労を思うとここで引き返すことはできません。しかし、さらに上に向かうと死んでしまう危険性もあります。そこで、彼は頂上へ行くことをやめて引き返すことにしました。

この勇気です。「しない勇気」です。

これはとても大切な勇気です

みなさんの生活で考えてみましょう。友達をいじめている人がいたとします。その時に、「おまえもやれよ」といわれると、自分がしないのは勇気がないと思われるからと、いじめの仲間に加わってしまう、・・・どうですか？



こんな時「絶対にしない」というのが本当の勇気です。

人に悪いことを誘われても、私たちは「しない勇気」も持たなくてはなりません。とても大切な勇気です。

絶対にしてはいけないことをするのは、勇気ではなく「蛮勇」（ばんゆう）といいます。低学年の人には難しいと思うけれども、覚えておいて下さい。

「する勇気」と「しない勇気」しっかり心に刻んで下さい。